

第25期（平成26年）の事業報告書
（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

1. 自転車に関する調査分析

毎年「調査分析テーマ」を決め、調査分析結果の発表会を館内で開催します。
今年度は、昨年に引き続き同志社大学の西先生に「日本とドイツにおける自転車工業の産業組織に関する比較 1890年－1930年」を100万円で依頼します。

平成26年度の実績：昨年12月12日に当ホールで、西先生に「世紀転換期のドイツにおける自転車工業の拡大と労働市場」の題名で調査分析結果の発表をしていただきました。

2. 自転車に関する普及啓発

(1) より多くの市民に、自転車に乗ることで楽しさを実感し、自転車の有効性を理解・認知してもらうことによって自転車志向を高めていきます。

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ① マウンテンバイクツーリング | 年間4回実施 |
| ② ロードバイクスクール（ロードバイクの初心者スクール） | 年間4回実施 |
| ③ 自転車ライフ体験セミナー（スポーツバイク取り扱いセミナー） | 年間4回実施 |
| ④ 自転車散歩：10km程度を楽しみながら走行 | 毎月1回実施 |
| ⑤ 健康サイクリング：20－30kmを健康のために走行 | 毎月1回実施 |
| ⑥ ファンクラブの後援 サイクリング中級者向けイベント開催 | 毎月2回実施 |

平成26年度の実績：計画通り実施しました。今年度はバイクスクールには124人、自転車散歩には242人、健康サイクリングには298人参加されました。

(2) 各種セミナーに出席して情報を収集します。

平成26年度の実績：堺市政策研究所主催のシンポジウム「自転車がつくる未来の暮らし」をはじめ、各種の講演会等に参加して、自転車に関する情報の収集に努めました。

(3) 各種講演・執筆活動で自転車の有効活用を発信します。

平成26年度の実績：富田林市の市民セミナー「エコ&メタボ改善に」と題したセミナーでの講演をはじめ、数多くのメディアからの取材にも対応しました。

(4) シマノの2億円の寄付で作られた「堺市環境共生まちづくり企画運営委員会」の副委員長に自転車博物館サイクルセンター事務局長 長谷部雅幸氏が就任し、引き続き活動していきます。また、その下部組織の「堺自転車のまちづくり・市民の会」に参加して、自転車利用マナー向上活動並びに自転車のまちづくりに協力します。

平成26年度の実績：毎月活動しました。また、「堺自転車のまちづくり・市民の会」が設立10周年となり、記念パネルを作成して一層の啓発活動に取り組みました。

- (5) 関西サイクル・スポーツセンターの展示に協力
関西サイクル・スポーツセンター内の啓発展示室に自転車（オーディナリー他）
6台を継続して貸出します。

平成26年度の実績：現在、関西サイクル・スポーツセンターへは、オーディナリー
他4台を貸出展示しました。

- (6) 堺市内の小学校を対象とした、自転車安全教育活動の支援をします。

平成26年度の実績：6校に合計68台の当博物館所有の自転車を貸出して、学校で
行う安全教室の運営に協力しました。

- (7) 堺市内の支援学校を対象とした、自転車乗り方教室を実施します。

平成26年度の実績：百舌鳥支援学校と上神谷支援学校に出向き、各校月2回、校
庭で自転車乗り方教室を実施しました。今年度は297人の生徒を指導しました。

3. 自転車博物館サイクルセンターの運営

- (1) クラシック自転車等の収集・収蔵・展示
常設展示として、自転車発展の歴史を展示します。

平成26年度の実績：今年度の入館者は、29,452人でした。

- (2) 特別展「世界一周 自転車冒険旅行」展を4月1日より1年間行います。
5組の世界一周した自転車を紹介し、自転車の可能性、すばらしさを啓発します。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。

- (3) 当館の収蔵する自転車、部品、用品、資料の整理とデータ蓄積を引き続き行いま
す。また、図録の電子化も行っています。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。

- (4) 第23回夏休みこども絵画コンクールの実施
昨年は応募作品が37,905点でした。絵を描くことによって自転車のしくみを
理解すると同時に、自転車の社会的役割を思考する機会を提供するために、次世代
を担う子ども達の応募継続に取り組みます。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。今年度は38,080点の応募があり
ました。

- (5) 平成17年から3年間協力したキャリア教育プロジェクト「こんな自転車欲しかったん」を受継いで、博物館主催の自転車企画コンテストを平成20年に開始し、今年も引き続き実施します。昨年の応募作品数は、1,491点でした。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。今年度は1,711点の応募がありました。

- (6) 手作りおもちゃ教室（毎月1回）：博物館を会場として開催することで、地域住民の方々に少しでも自転車への理解や関心を深めていただくことを目的に行います。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。今年度は720の方が参加されました。

- (7) 各地の自転車展示館、関係団体との交流を通し、自転車情報の収集を行います。

平成26年度の実績：青山自転車博覧会（5月3日～5月31日）にロードレーサー1台を、また、10月には愛媛県立美術館へ6台の自転車を貸出しました。

- (8) 文化庁の呼びかけで「関西文化の日」として文化力による関西復興の呼びかけがあり、11月15、16日に2日間無料開館を実施します。

平成26年度の実績：11月15、16日に2日間無料開館を実施しました。2日間の入館者は、496人でした。

- (9) 5月18日（日）のツアー・オブ・ジャパン堺ステージが大仙公園周回コースで開催されるのを機に、自転車の普及啓発のため、博物館無料入館と自転車ひろばでクラシック自転車レプリカの無料利用を実施します。

平成26年度の実績：当日は、1,426の方が入館されました。また、レプリカにも353の方が試乗されました。

4. 自転車ひろばの運営

- (1) 自転車乗り方教室（初心者スクール）：毎週水・土曜日と毎月1・3・5日曜日に実施します。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。今年度は2,329の方が参加されました。

- (2) クラシック自転車レプリカ体験試乗：団体利用については予約をいただき、一般の方は毎月2・4日曜日と祝日に実施します。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。今年度は9,621の方が試乗されました。

- (3) 子ども自転車安全教室と大仙公園サイクリング：自転車に乗れる5歳から10歳までの子どもを対象として、堺警察署と合同で交通安全講習と実技を行い、最後に全員で大仙公園内をサイクリングします。

平成26年度の実績：計画通り実施しました、今年度は244人の子どもさんが参加されました。

- (4) 自転車ひろばまつり：開設記念日に近い11月2日にクラシック自転車レプリカの無料利用を実施します。

平成26年度の実績：計画通り実施しました。当日は102人の方が試乗されました。